

限界突破ジェネレーション☆

10代から60代までのメンバーがいる
全世代が楽しめる多世代アイドルユニット



1970年代から現代までのアイドルソングを歌ったり
世代の壁を突破して
全世代が楽しめるユニットです

7月9日デビューライブ



yahooニュースと毎日新聞全国版掲載

最年少は17歳の高校3年生、最年長はまもなく60歳の選層。福島県内に住むバラバラの世代の6人の女性がアイドルグループ「限界突破ジェネレーション★」を結成し、9日にデビューする。「いつか全国区に」と夢見るメンバーたちは、福島を盛り上げたいという思いに加え、ある願いを抱いている。

【写真特集】デビューに向け練習に励むメンバーたち

「間が空くから、前の曲が終わったらすぐに動こうか」。デビューを9日後に控えた6月30日、福島県郡山市の公民館であった練習で、リーダーの「ちろ。」さん(44)が仲間に声を掛けた。曲の合間、立ち位置を変えるために動き出すタイミングをもっと早くしようという提案だった。

メンバーは郡山市や白河市など福島県内各地に分散しており、仕事も会社員から、フリーアナウンサー、占師までさまざま。6人全員がそろって練習できたのはこれまで1回だけだった。

2回目の練習となったこの日も1人が仕事の都合で欠席した。普段は動画を見ながらそれぞれが振り付けなどを覚えており、仲間と立ち位置の確認ができる機会が貴重だ。メンバーはデビューイベントで歌う曲を繰り返し練習した。

「ちろ。」さんはアラフォーアイドルグループの一員として1年半ほど活動した経験がある。体調を崩して抜けたが、あきらめきれない思いを抱えていた時に、福島のダンスユニットで活動しているゆっこさん(53)、「もえ。」さん(59)と出会った。

「福島で何かやりたいね」。話はすぐに盛り上がった。40代、50代、まもなく60歳の3人だったため、「いろんな世代を集めたら面白い」と話し、知り合いのつてをたどって、20代のここたんさん、30代のあやせさん、「おんぶちゃん。」さん(17)がメンバーに加わった。

「1970年代から現在まで、どの世代の曲もできるから、どんな年代のお客さんにも青春の曲を楽しんでいただけます」と、ゆっこさん。ただ、「多世代」にこだわった理由はそれだけではない。

「自分も昔、『新人類』と言われて嫌だったけど、つい年下の人を『ゆとり世代』と呼んでしまうこともある。『バブル世代』も『ロスジェネ(失われた世代)』も『Z世代』も、それぞれその時代を生きてきた思いがあるはず。世代間を分断するのではなく、各世代の思いを共有し、壁を取っ払って助け合えるような世の中になれば、そのためのパフォーマンスをしたいんです」。グループの名前は、そんな思いを込めてつけた。

「限界突破」は、メンバーそれぞれの目標でもある。「シャイで自分の意見をなかなか言えないところもあるけど、活動を通じて自分の生きたいように生きられるようになれば」と、「おんぶちゃん。」さんは言う。最年長の「もえ。」さんは「この年でこんな派手な服は着られない、ダンスなんかできないという女性たちに、『そんなことはないよ』と伝えたい。自分にとっての限界は体力かな」と笑う。

7月9日午後5時から、とうほう・みんなの文化センター(福島市)で開かれるイベントでデビューし、「年下の男の子(キャンディーズ)」、「365日の紙飛行機」(AKB48)、「アイドル」(YOASOBI)など新旧の曲のメドレーを披露する。ロック調のオリジナル曲も制作中で、「いずれは全国でライブ活動できたら」(「ちろ。」さん)と張り切っている。

出演依頼などは大道GATEプロダクション(090・6225・2914)へ。【西川拓】

